

《でもとにかく ～勇気を出して実行しましょう～》

今日の福音(マタイ 14:22 - 33)のメッセージは、二つあるのですが、今日は一つのメッセージについてだけお話しします。「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」という言葉について、黙想したいと思います。

原本の聖書では、「安心しなさい」というより「勇気を出しなさい。」というのが正確な解釈になります。ですから、英語も「信仰を持ちなさい。」、スペイン語も「頑張りなさい」という言い方になっています。「勇気を出して、安心しなさい。恐れることはない。」となっているのだと思います。

この言葉の意味をもっと深めるために、マザーテレサがインドにある学校の壁に書いた文章を皆様に紹介させていただきます。「でもとにかく」というタイトルの文章です。

「でもとにかく」

1. 人々はよく非理性的で非論理的で利己的な姿をみせます。

でもとにかく彼らを赦してください。

この言葉に納得しますか？ しかし、自己中心的な生き方は、『人々』ではなくて『自分』のことかもしれません。自分も自分の気に入らない時に、論理的、理性的に考えずに自分のことばかり考える。そういう姿を見せているかもしれません。そして相手が赦してくださっているのかもしれない。

2. もしあなたが親切ならば、人々はあなたの親切さの後に不純な動機があるとあなたを非難するかもしれません。

でもとにかく優しくしてください。

私たちが善いことをしようとしても、それがそのまま受け入れられないのが現実です。皆様がいくら優しい心で人に手を伸ばそうとしても、相手がそのまま素直に受け入れることはほとんどないかもしれません。『それでも、優しくしてください』という話しです。

3. もしあなたが成功したとすれば、あなたは幾人かの偽りの友達と本当の敵を作り出すことになります。

でもとにかく成功してください。

もし皆様が成功すれば、命をかけて信じてよいと思える本当の友が必ず現れます。特に皆様が困った時に、最善を尽くして助けてくれます。しかし逆に、本当の敵だと思える人も必ず現れるはずで。『それでも、気にせず目指す道を最後まで行きなさい。』という言葉です。

4. あなたが正直で率直であれば、人々はあなたを騙すかも知れません。

でもとにかく正直で真面目にしてください。

こういうことは、よくありますよね。本音で話したのに、相手が私の優しさを利用して、裏切られた経験のある方は結構いらっしゃると思います。また、逆に相手が私たちをそのように思うかもしれないことも意識しなくてはなりません。

5. あなたが何年もかけて築き上げてきたものを誰かが一夜にして壊す事があるかも知れません。

でもとにかく築き上げなさい。

人生は、成功したか失敗したかが問題なのではありません。とり方によっては、全てが成功になるし、全てが失敗にもなります。結局、どのような心で目的に向かって生きたのか、そしてその結果にどのくらい満足し、感謝しているのか、が問題なのです。そういう目で見ないといけなと思います。

6. もし、あなたが幸福と平和を見つけたら、人々は妬むかも知れません。

でもとにかく、幸せになって下さい。

韓国には、「親戚が土地を買ったらお腹が痛くなる。」ということわざがあります。「自分の手にある餅より相手の手にある餅が大きく見える」ということわざもあります。人間はねたむ存在です。自分が持っていない良いものを誰かが持っていれば、必ず自分の心の中に否定的な働きが生じます。それをいつも警戒しなくてははいけません。皆様が成功すれば、人々からねたまれるかもしれません。『しかし、それを気にしないでください。』という言葉です。

7. あなたが善い事を行っても、明日になると人々はその事を忘れるかも知れません。

でもとにかく、善い事を続けて行って下さい。

人間は忘れる存在です。皆様が心をこめて全てを注いだ相手でも時間が経てばそのありがたさを忘れるのが自然なことです。それに対する寂しい気持ち、もう嫌だ、と思う気持から解放されてください。人間とはそういう存在なのです。もし、最善を尽くしてあげたのに、そしてその時は本当にありがたい顔を見せたのに、いつの間にか、そういう気持が全然見られなくなったとしても、がっかりしないでください。それが人生です。

8. あなたが持っている最高の事をこの世に施しても、この世は充分ではないと言うかも知れません。

でもとにかく、この世の為に最善を尽くして施してください。

人の評価は必要ありません。もし皆様が人の評価に集中してしまうと、本当の中身を失ってしまいます。私が全てのよいものをあげてもその人が全然反応を見せてくれない時、『がっかりして、善いことをする心を失わないようにしなさい。』という言葉です。

9. 人生の終わり頃、あなたはこの全ての事が、あなたと人々の間で起こった事ではなく、神様とあなたの間にあったことであるのを悟る事になります。

私たちの関わりのほとんどは、人間との関わりです。そしてその人間の間でいろいろなことを

感じています。しかし、全ての関わりの中には神様の望んでいる意向があるのです。つまり、“この世の中の全ての関係は、神様と私の関係と全く同じである”ということです。ですから、イエス様が「この人の顔の中に私を見つけなさい。この一番小さくされたものの中に私を見つけなさい。」とおっしゃったのです。これは聖書の精神です。私たちに起こる全ての出来事の中には、神様がいらっしゃることをいつも意識しなければいけない、ということです。

今聞いた言葉を今日の福音とつなげてみましょう。

皆様が善いことだと思う時、そして善いことだと思いながら行う時、「不安に陥らずに、安心して勇気を出して続けない。」という内容です。「正しいと思うのなら、その信念に従いなさい。」とっています。

いろいろなことを考えずに一つだけ考えましょう。本当に善いことならば恐れずに実行しましょう。“これをしたら責められるのではないか”というようないろいろな不安、いろいろな心配ばかりしてしまうと絶対に進めません。絶対に善いことを成し遂げることは出来ません。

皆様も心の中に、「これは正しいことだ」と思っていることが必ずあると思います。それを恐れずに実行しましょう。

ありがとうございました。